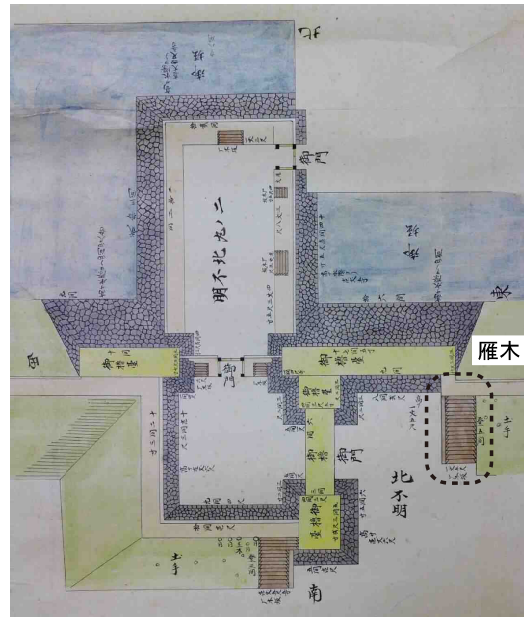


### 3 ニノ丸北門雁木 (がんぎ)

ニノ丸北門には、江戸時代の城絵図によると、雁木とよばれる石造りの階段が設置されていました。その有無を確認する調査を実施しましたが、検出されませんでした。平成27年度にニノ丸南門で雁木の調査を行った際は、実際に検出されました。今回の北門で雁木が検出されなかったのは、元々存在していたものが明治時代以降に失われたためと考えられます。

山形城は明治29年(1896)に陸軍が入り、城郭が改変されますので、北門の雁木もその際に抜き取られた可能性があります。あるいは、北門の石垣は、史跡指定前の昭和58年に修復工事が行われているので、この時に失われたとも考えられます。

発掘調査では、陸軍時代の兵舎の瓦や現代の遺物が多く出土しましたので、この両方の理由かもしれません。



秋元氏時代(江戸時代後期)ニノ丸北門絵図(市郷土館蔵)



ニノ丸北門雁木 発掘調査状況

### 史跡山形城跡 ニノ丸土塁(北東部)発掘調査現地説明会資料

平成30年11月3日(土) 山形市教育委員会 社会教育青少年課

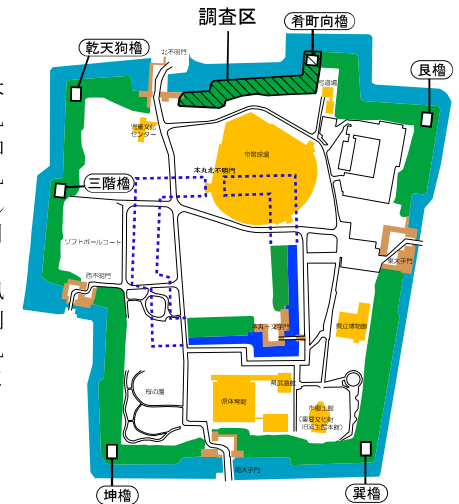
#### 調査要項

遺跡名	国指定史跡 山形城跡
所在地	山形市霞城町(霞城公園)
遺跡番号	1番(山形県遺跡地図)
調査期間	平成30年5月7日~11月30日(予定)
調査面積	約600㎡
調査原因	史跡山形城跡(霞城公園)ニノ丸土塁園路整備事業
遺跡種別	城郭(近世城郭)
時代	近世
遺構	石垣、土塀礎石など
遺物	瓦、陶磁器、金属製品など
調査事業の主体	山形市公園緑地課
調査実施の機関	山形市教育委員会
調査担当	山形市教育委員会社会教育青少年課

#### 1 概要

山形城跡は、最上義光が拡張整備したといわれる本丸、ニノ丸、三ノ丸からなる平城です。現在、ニノ丸から内側は霞城公園として憩いの場となっており、昭和61年国史跡指定を受けてから整備が進められ、ニノ丸東大手門や本丸一文字門石垣・高麗門などが復原され新たなシンボルとなっています。今年度は昨年度に引き続きニノ丸土塁(北東部)を発掘調査しました。

昨年度は現存遺構としては全国で初めてとなる屏風折れ土塀の礎石が検出されました。今年度はその西側部分を調査しましたが、屏風折れ土塀の延伸部分が見つかり、北門の石垣まで続いていることが確認されました。



#### 歴代藩主年表

和暦	西暦	藩主	石高
明治二年	一八六九	水野忠弘	五万石
弘化二年	一八四五	水野忠精	
秋元久朝		秋元久朝	六万石
秋元永朝		秋元永朝	
秋元涼朝		秋元涼朝	
幕府領		(大給) 松平乗佑	六万石
堀田正亮		堀田正亮	
堀田正春		堀田正春	一〇万石
堀田正虎		堀田正虎	
元禄十三年	一七〇〇	(奥平) 松平忠雅	一〇万石
元禄五年	一六九二	(奥平) 松平忠弘	
貞享三年	一六八六	(結城) 松平直矩	一〇万石
貞享二年	一六八五	堀田正仲	一〇万石
奥平昌章		奥平昌章	九万石
奥平昌能		奥平昌能	
寛文八年	一六八八	(奥平) 松平忠弘	十五万石
慶安元年	一六四八	(結城) 松平直基	十五万石
正保元年	一六四四	幕府領	
寛永二十年	一六四三	保科正之	二十万石
寛永十三年	一六三六	鳥居忠恒	
元和八年	一六三二	鳥居忠政	二十二万石
		最上家信(義俊)	
		最上家親	五十七万石
		最上義光	
慶長五年	一六〇〇	斯波兼頼	
延文元年	一三五六		

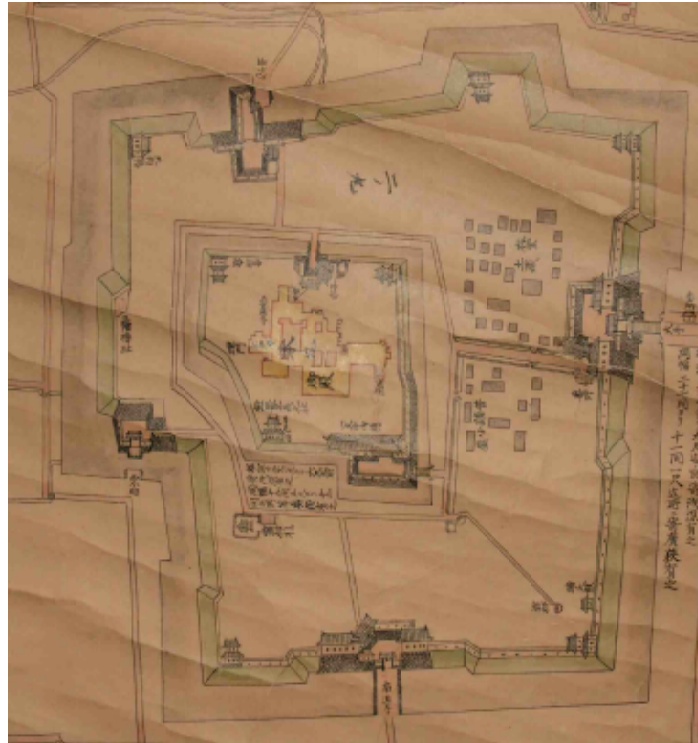
## 2 屏風折れ土塀

昨年度に引き続き、二ノ丸土塁（北東部）で屏風折れ土塀が検出されました。

屏風折れ土塀とは、所々に鋭角な折れ曲がりをもつ土塀のことです。土塀には穴が開いており、ここから攻めてきた敵に対して身を隠しながら弓や鉄砲で攻撃します。通常の直線的な土塀では正面は視認しやすいですが、左右が死角となり敵を狙うことができません。その欠点を解消したのが屏風折れ土塀です。折れ曲がる部分からは、左右に対しても敵を攻撃することが可能となります。

屏風折れ土塀の礎石は2時期あることが確認されました。新しい時期は城の外側（堀側）に折れ曲がる外折れ式で、古い時期は城の内側（本丸・二ノ丸側）に折れ曲がる内折れ式の構造でした。古い時期の土塀が倒壊したため、新しく構築したことが伺えます。

現存する二ノ丸土塁が形成されたのが、江戸時代前期の鳥居氏時代ですので、古い時期の屏風折れ土塀が構築されたのはこの頃ですが、新しいものに作り替えられた時期は不明です。新しい土塀も、江戸時代後期の秋元氏の時代には失われていました。このころの城絵図では、二ノ丸の東から南側の土塀は維持されますが、北から西は失われているのがわかります。



秋元氏時代（江戸時代後期）山形城絵図（市郷土館蔵）  
二ノ丸土塁の東側と南側のみ土塀が描かれ、北側から西側は失われています。



屏風折れ土塀検出写真